



平成 22 年 12 月 1 日

各 位

会社名  **日医工株式会社**
(証券コード 4541 東証・大証・名証各第一部)
代表者名 代表取締役社長 田村 友一
お問合せ先 取締役管理本部長 赤根 賢治
TEL 076-442-7026

東京証券取引所市場第一部への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ

当社は、本日平成 22 年 12 月 1 日に東京証券取引所市場第一部へ上場いたしました。今後とも、なお一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

なお、当社の平成 22 年 11 月期の業績予想は以下のとおりであり、また最近の決算情報等につきまして別添のとおりお知らせいたします。添付資料は平成 22 年 10 月 14 日に公表いたしました「平成 22 年 11 月期第 3 四半期決算短信」であります。

【連結】

(単位：百万円、%)

決算期 項目	平成 22 年 11 月期 (予想)			平成 22 年 11 月期 第 3 四半期累計期間 (実績)		平成 21 年 11 月期 (実績)	
		構成比	前年比		構成比		構成比
売上高	65,500	100.0	119.5	46,904	100.0	54,806	100.0
営業利益	6,850	10.5	109.7	5,047	10.8	6,246	11.4
経常利益	6,600	10.1	107.8	4,831	10.3	6,121	11.2
当期(四半期)純利益	3,900	6.0	103.7	2,732	5.8	3,762	6.9
1株当たり 当期(四半期)純利益	123.58 円			87.27 円		121.98 円	

- (注) 1.平成 21 年 11 月期及び平成 22 年 11 月期第 3 四半期累計期間の 1 株当たり当期(四半期)純利益は、期中平均発行済株式数により算出しております。
2.平成 22 年 11 月期(予想)の 1 株当たり当期(四半期)純利益は、予定期中平均発行済株式数 31,558,246 株により算出しております。

以上



平成22年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年10月14日

上場取引所 大 名

上場会社名 日医工株式会社

コード番号 4541 URL <http://www.nichiiko.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田村 友一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 赤根 賢治

TEL 076-432-2121

四半期報告書提出予定日 平成22年10月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年11月期第3四半期の連結業績(平成21年12月1日～平成22年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年11月期第3四半期	46,904	16.8	5,047	7.8	4,831	4.0	2,732	2.7
21年11月期第3四半期	40,164	31.8	4,681	12.3	4,645	3.9	2,659	2.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年11月期第3四半期	87.27	87.21
21年11月期第3四半期	86.22	86.14

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年11月期第3四半期	62,623		24,970	39.9			771.19	
21年11月期	57,466		18,809	32.7			609.79	

(参考) 自己資本 22年11月期第3四半期 24,970百万円 21年11月期 18,809百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年11月期	—	15.00	—	15.00	30.00
22年11月期	—	15.00	—		
22年11月期(予想)				15.00	30.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成22年11月期の連結業績予想(平成21年12月1日～平成22年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	65,500	19.5	6,850	9.7	6,600	7.8	3,900	3.7	123.58

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】3ページ「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 22年11月期3Q 32,729,417株 21年11月期 31,204,917株

② 期末自己株式数 22年11月期3Q 350,286株 21年11月期 359,740株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 22年11月期3Q 31,306,783株 21年11月期3Q 30,847,432株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(第3四半期連結累計期間)	6
(第3四半期連結会計期間)	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、大企業・製造業を中心に緩やかな企業業績の回復が見られますが、円高懸念をはじめ景気持ち直しの動きが続くのか、先行きの不安を払拭できない状況が続いております。

医薬品業界では本年4月に診療報酬改定と薬価改定が実施されました。当社は薬価加重平均で約9.3%の引下げの影響がありましたが、ジェネリック医薬品使用促進策として後発医薬品調剤体制加算点数が従来よりも引上げられ、調剤市場を中心にジェネリック医薬品の市場拡大が進んでおります。

このような状況において当社は、ジェネリック医薬品の品質・生産能力・生産性の向上を目的として富山県滑川市の滑川第一工場に大型設備投資を行い、本年4月から稼働しました。また、ジェネリック医薬品の市場拡大に伴う開発の効率化・スピード化に対応するため、グローバル開発品質管理センター「ハニカム棟」の建設を計画しております。同センターはグローバル基準に対応した世界に挑戦する戦略的な開発拠点であり、原薬から製剤開発・生産・品質管理機能を集約した施設として設計しており、着工が本年12月、竣工は平成23年11月の予定です。

当社とサノフィ・アベンティスは、日本におけるジェネリック医薬品事業の戦略的提携を本年5月に合意し、同年6月には共同出資会社「日医工サノフィ・アベンティス株式会社」を設立しております。また同年9月からはサノフィ・アベンティスグループとの取組みの一つとして、睡眠障害改善剤「アモバン錠」の販売移管を開始しました。今後も当社のジェネリック医薬品の専門性と、サノフィ・アベンティスグループがグローバルで展開するリソースの活用により、当社は日本のジェネリック医薬品市場の創造に取り組んでまいります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高が469億4百万円（前年同四半期比16.8%増）、営業利益が50億47百万円（同7.8%増）、経常利益が48億31百万円（同4.0%増）、四半期純利益は27億32百万円（同2.7%増）と、売上高・利益とも過去最高となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結累計期間末における総資産は、前連結会計年度に比べ51億57百万円増加し、626億23百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が30億2百万円、たな卸資産が15億17百万円増加したほか、新工場竣工に伴う設備投資により有形固定資産が8億8百万円増加したことなどによります。

負債につきましては、前連結会計年度に比べ10億4百万円減少し、376億53百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が20億78百万円増加したものの、長短借入金が14億87百万円減少したほか、未払法人税等が9億11百万円減少し、また流動負債その他が13億80百万円減少したことなどによります。

純資産につきましては、利益剰余金18億8百万円の増加のほか、サノフィ・アベンティスグループであるサノフィ・アベンティス株式会社に対する第三者割当増資により、資本金及び資本剰余金が44億14百万円増加したことなどにより、前連結会計年度に比べ61億61百万円増加し、249億70百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、当第3四半期連結累計期間において8億36百万円の収入超過（前年同四半期比18億53百万円減）となりました。主な内訳は、税金等調整前四半期純利益40億26百万円、減価償却費の計上19億84百万円、仕入債務の増加20億78百万円増加、売上債権の増加30億1百万円、たな卸資産の増加15億17百万円、法人税等の支払額24億45百万円であります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、当第3四半期連結累計期間において28億7百万円の支出超過（前年同四半期比10億68百万円減）となりました。これは、滑川第一工場の設備投資を主とした有形固定資産の取得による支出が22億69百万円あったことなどによるものであります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、当第3四半期連結累計期間において18億52百万円の収入超過（前年同四半期比3億59百万円増）となりました。これは、サノフィ・アベンティス株式会社を引受先とする第三者割当による新株式発行による収入が43億91百万円あったものの、返済により借入金が14億87百万円減少したことや配当金の支払額が9億12百万円あったことなどによるものであります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ1億19百万円減少し、9億3百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年7月6日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 簡便な会計処理

(固定資産の減価償却費の算定方法)

定率法を採用している固定資産につきましては、当連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(棚卸資産の評価方法)

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末に係る実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定しております。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

(追加情報)

退職給付制度の改定

当社は、平成22年6月30日付で退職給付制度のうち適格退職年金制度を廃止し、平成22年7月1日に確定拠出年金制度及び一時金制度へ移行することに伴い、「退職給付制度間の移行等に関する会計処理」(企業会計基準適用指針第1号)を適用しております。本移行に伴い、特別損失として11,558千円を計上しております。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,425,942	1,545,387
受取手形及び売掛金	17,413,005	14,410,021
有価証券	666	1,666
商品及び製品	10,136,374	9,931,532
仕掛品	3,010,626	2,685,719
原材料及び貯蔵品	4,498,233	3,510,942
その他	2,380,984	2,210,015
貸倒引当金	△430,000	△421,000
流動資産合計	38,435,831	33,874,286
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,009,384	4,989,859
機械装置及び運搬具（純額）	4,287,733	1,896,045
土地	3,410,877	3,414,764
建設仮勘定	622,750	6,626,805
その他（純額）	1,215,344	809,974
有形固定資産合計	18,546,090	17,737,449
無形固定資産		
のれん	981,467	1,004,048
その他	1,880,792	2,270,288
無形固定資産合計	2,862,260	3,274,337
投資その他の資産		
投資有価証券	1,417,108	1,459,754
その他	1,442,923	1,196,878
貸倒引当金	△80,625	△76,338
投資その他の資産合計	2,779,407	2,580,295
固定資産合計	24,187,757	23,592,082
資産合計	62,623,589	57,466,368

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,586,248	11,507,397
短期借入金	11,033,636	11,425,000
1年内返済予定の長期借入金	1,542,722	1,471,436
未払法人税等	588,293	1,500,284
返品調整引当金	44,000	39,000
賞与引当金	335,294	—
その他	2,404,972	3,785,932
流動負債合計	29,535,167	29,729,050
固定負債		
長期借入金	3,721,018	4,888,847
退職給付引当金	2,634,036	2,577,677
その他	1,762,944	1,461,620
固定負債合計	8,117,998	8,928,145
負債合計	37,653,166	38,657,195
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,270,208	3,064,257
資本剰余金	4,046,398	1,837,737
利益剰余金	15,826,755	14,017,801
自己株式	△413,512	△423,731
株主資本合計	24,729,850	18,496,064
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△21,064	49,281
土地再評価差額金	261,637	263,826
評価・換算差額等合計	240,573	313,108
純資産合計	24,970,423	18,809,173
負債純資産合計	62,623,589	57,466,368

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年12月1日 至平成21年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年12月1日 至平成22年8月31日)
売上高	40,164,773	46,904,018
売上原価	22,024,963	26,554,757
売上総利益	18,139,810	20,349,260
返品調整引当金繰入額	—	5,000
返品調整引当金戻入額	18,900	—
差引売上総利益	18,158,710	20,344,260
販売費及び一般管理費	13,476,827	15,296,708
営業利益	4,681,883	5,047,552
営業外収益		
受取利息	2,146	3,692
受取配当金	15,196	16,779
負ののれん償却額	172,341	119,552
共同開発費用分担金	100,592	1,232
その他	88,874	125,179
営業外収益合計	379,152	266,436
営業外費用		
支払利息	213,088	178,394
支払手数料	—	104,744
手形売却損	70,220	27,562
売上債権売却損	6,487	57,077
業務提携関連費用	—	80,000
その他	125,890	34,602
営業外費用合計	415,686	482,382
経常利益	4,645,348	4,831,606
特別利益		
固定資産売却益	2,432	139
貸倒引当金戻入額	8,262	—
その他	374	—
特別利益合計	11,069	139
特別損失		
たな卸資産評価損	384,510	—
固定資産処分損	17,945	4,542
減損損失	1,295	378,460
投資有価証券評価損	5,355	40,068
工場休止関連費用	31,448	370,200
その他	8,428	11,558
特別損失合計	448,983	804,829
税金等調整前四半期純利益	4,207,434	4,026,916
法人税等	1,547,841	1,294,696
四半期純利益	2,659,593	2,732,220

(第3四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成21年6月1日 至平成21年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年8月31日)
売上高	13,488,323	16,086,585
売上原価	7,385,516	9,226,455
売上総利益	6,102,807	6,860,130
返品調整引当金繰入額	—	8,000
返品調整引当金戻入額	2,429	—
差引売上総利益	6,105,236	6,852,130
販売費及び一般管理費	4,534,694	5,411,173
営業利益	1,570,541	1,440,956
営業外収益		
受取利息	951	1,261
受取配当金	11,121	12,668
負ののれん償却額	57,447	4,657
共同開発費用分担金	40,046	—
その他	19,133	54,139
営業外収益合計	128,700	72,728
営業外費用		
支払利息	72,351	52,589
支払手数料	—	28,433
手形売却損	22,003	4,568
売上債権売却損	6,487	21,463
その他	35,989	29,249
営業外費用合計	136,831	136,305
経常利益	1,562,410	1,377,380
特別利益		
貸倒引当金戻入額	217	511
特別利益合計	217	511
特別損失		
固定資産処分損	811	1,042
減損損失	—	3,627
投資有価証券評価損	1,042	6,448
工場休止関連費用	10,442	8,073
退職給付制度改定損	—	11,558
その他	2,300	—
特別損失合計	14,596	30,750
税金等調整前四半期純利益	1,548,032	1,347,141
法人税等	510,665	476,848
四半期純利益	1,037,367	870,292

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年12月1日 至 平成21年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年12月1日 至 平成22年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,207,434	4,026,916
減価償却費	1,307,854	1,984,949
減損損失	1,295	378,460
のれん償却額	142,133	142,133
負ののれん償却額	△172,341	△119,552
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△8,455	13,287
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	34,689	56,358
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	△18,900	5,000
賞与引当金の増減額 (△は減少)	344,353	335,294
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△27,500	—
受取利息及び受取配当金	△17,343	△20,471
支払利息	213,088	178,394
固定資産売却損益 (△は益)	△2,432	△139
固定資産処分損益 (△は益)	17,945	4,542
投資有価証券評価損益 (△は益)	5,355	40,068
売上債権の増減額 (△は増加)	1,637,860	△3,001,674
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,411,433	△1,517,038
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,121,774	2,078,850
未払費用の増減額 (△は減少)	△598,733	△767,656
その他	△442,841	△368,441
小計	5,333,802	3,449,280
利息及び配当金の受取額	17,376	20,264
利息の支払額	△198,017	△187,575
法人税等の支払額	△2,463,587	△2,445,876
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,689,574	836,091
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△15,000	—
定期預金の払戻による収入	18,000	—
有価証券の売却による収入	666	666
有形固定資産の取得による支出	△3,185,572	△2,269,835
有形固定資産の売却による収入	2,370	10,591
無形固定資産の取得による支出	△105,417	△452,197
無形固定資産の売却による収入	158,000	—
投資有価証券の取得による支出	△469,583	△98,436
貸付けによる支出	△254,408	—
貸付金の回収による収入	632	458
その他	△25,448	1,155
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,875,760	△2,807,598

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年12月1日 至 平成21年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年12月1日 至 平成22年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,494,309	△391,363
長期借入れによる収入	4,750,000	—
長期借入金の返済による支出	△720,481	△1,096,543
株式の発行による収入	—	4,391,520
自己株式の取得による支出	△188,330	△1,570
自己株式の売却による収入	304	—
ストックオプションの行使による収入	20,420	14,500
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△8,893	△151,851
配当金の支払額	△865,895	△912,643
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,492,813	1,852,048
現金及び現金同等物に係る換算差額	△10	△8
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	306,617	△119,466
現金及び現金同等物の期首残高	544,367	1,022,823
現金及び現金同等物の四半期末残高	850,984	903,357

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結会計期間（自平成21年6月1日 至平成21年8月31日）及び当第3四半期連結会計期間（自平成22年6月1日 至平成22年8月31日）

単一セグメント（医薬品事業）のため、事業の種類別セグメント情報は記載していません。

前第3四半期連結累計期間（自平成20年12月1日 至平成21年8月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自平成21年12月1日 至平成22年8月31日）

単一セグメント（医薬品事業）のため、事業の種類別セグメント情報は記載していません。

[所在地別セグメント情報]

前第3四半期連結会計期間（自平成21年6月1日 至平成21年8月31日）及び当第3四半期連結会計期間（自平成22年6月1日 至平成22年8月31日）

在外子会社等がないため、所在地別セグメント情報は記載していません。

前第3四半期連結累計期間（自平成20年12月1日 至平成21年8月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自平成21年12月1日 至平成22年8月31日）

在外子会社等がないため、所在地別セグメント情報は記載していません。

[海外売上高]

前第3四半期連結会計期間（自平成21年6月1日 至平成21年8月31日）及び当第3四半期連結会計期間（自平成22年6月1日 至平成22年8月31日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、記載を省略しております。

前第3四半期連結累計期間（自平成20年12月1日 至平成21年8月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自平成21年12月1日 至平成22年8月31日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成22年6月16日付で、サノフィ・アベンティス株式会社から第三者割当増資の払込みを受けました。

この結果、当第3四半期連結会計期間において資本金及び資本準備金がそれぞれ2,205,951千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が5,270,208千円、資本剰余金が4,046,398千円となっております。